

## シノケングループが高齢者住宅に本格参入

### 介護事業コンサルのリクロスを子会社化



シノケングループ  
(福岡県福岡市)  
篠原英明社長(47)

投資用アパート・マンションの販売、管理を行うシノケングループ(福岡県福岡市)は11月27日、介護事業のコンサルティンク業務を行うリクロス(福岡市)の株式を取得し子会社化したことを発表した。

リクロスは2006年に設立した介護事業に関するコンサルティンクを主業務とする会社。「サービス付き高齢者向け住宅等の開発企画や、既存の高齢者向け賃貸住宅向けのコンバージョン(建

物の用途変換や転用のこと)企画などの提案を行い実績を挙げてきた。高齢者社会支援ポータルサイトとして「寿らいふタウン」の運営も行う。

シノケングループでは、リクロスを取得することで、既存の賃貸住宅を高齢者向け住居に改装することにより、管理物件の入居率向上を目標とする。加えて、サービス付き高齢者向け住宅をはじめとした介護用住居の企画提案・新規受注を進めていく予定だという。

シノケングループは同日、2012年12月期の連結業績予想を上方修正したと発表した。同社によると、前回予

想より営業利益が3億8000万円増加。経常利益は4億8000万円、純利益は5億3000万円増加の見込みだ。

上方修正の理由は主に3つ。アパート販売数が前年を大きく上回り、現在も販売数が好調であること、賃貸管理戸数の増加に伴い、管理事業と金融保険事業の収益が安定して確保できていること、そして、業績好調のため金融機関からの借入れ調達コストが軽減し、営業外収益が向上したこと、を同社は挙げている。

リクロスの取得により今後さらなる事業拡大を目指す。